

12 宣 言 文

<p>12-1 EXTERNAL文</p>	<p>一般形 EXTERNAL v₁, v₂, …… v_n</p> <p>v₁, v₂, …… v_n : 外部手続き名, 基本外部関数名, 関数副プログラム名, サブルーチン副プログラム名.</p> <p>外部手続きを引用するプログラムがその実引数として, その外部手続き名を使用する場合には, 単なる変数名と区別する必要がある。EXTERNAL文に現れた名前は, 外部手続き名として宣言される。</p> <p>〔例〕</p> <pre style="margin-left: 20px;">EXTERNAL SIN, COS, FUC X = 3.1415 * A - B CALL SUBF(SIN, X) CALL SUBF(COS, X) CALL SUBF(FUC, X) END SUBROUTINE SUBF(F, X) Y = F(X) WRITE(6, 5) X, Y 5 FORMAT(1H0, 2(5X, E16.8)) RETURN END FUNCTION FUC(X) FUC = SIN(X) * COS(X) RETURN END</pre> <div style="margin-left: 150px;"> <p>} 外部手続きを引用するプログラム</p> <p>} 実引数は基本外部関数</p> <p>} 実引数は関数副プログラム</p> <p>} サブルーチン SUBF を定義するサブルーチン副プログラム</p> <p>} 関数、FUC を定義する関数副プログラム</p> </div>
<p>12-2 COMMON文</p>	<p>異なるプログラム単位間でデータを参照するためには, 引数を指定する方法の外にCOMMON文によって共通領域を指定する方法がある。</p> <p>一般形 COMMON/x₁/a₁/x₂/a₂/……/x_n/a_n</p> <p>a₁, a₂, …… a_n : 変数名や配列名又は配列宣言子の並び</p> <p>x₁, x₂, …… x_n : ブロック名, 英字ではじまる6字以内の英数字</p>